

講 演 欄

會 長 演 說

會 長 横 山 英 太 郎

(昭和 15 年 4 月 27 日 於 通 常 總 會)

我が國が内外共に空前の一大難局に際會し、國を擧げてその打開に邁進しつゝあるの秋に當りまして、圖らずも各位の御推擧に依り、本學會の會長に就任致しましたことは、私に取りまして洵に光榮に存する次第であります。乍然顧みまして、その責任の重大なるを思ひまするとき、全くその器にあらざることを痛感するのでありますが、幸にして學識經驗の豐なる有能の役員及び會員各位の御援助に依りまして、大過なくこの職責を全うし得ることを念願してゐる次第であります。

本學會の最近の躍進振を指摘して、退任されました會長初め役員の方々に對し、お禮を申し上げたいと思つて居つた譯であります。只今黒川新副會長からお挨拶もありましたので、茲では省略さして戴きますから、不惡御諒承を願ひます。

曩に待望の支那新中央政權は樹立せられまして、昨日は還都慶祝式典が盛大に行はれ、事變の實効を納むべき新段階に入りましたことは、御同慶に堪へない次第であります。これ洵に皇紀二千六百年を祝福すべき、活きたる大典であり、東亞經濟建設の定礎式とも考へられるのであります。吾々は一貫せる不拔の指導精神を持つて、今後長年月に亘つて、内に生産力の擴充を圖ると共に、彼の廣大なる大陸に於て建設の巨歩を進めなければならぬのであります。而してこの事業完遂に必要缺くべからざるものは、申す迄もなく卓越せる技術の力であります。今後も益々武力の重要性あることは勿論であります。武力と雖も近來科學戰の名稱ある如く、科學及び技術がその極めて重大なる役割を演ずることは事實の明示するところであります。斯の如く技術の實力なくしては、興亞の偉業は到底達成することが出來ないのであります。

技術は採鑛、冶金、機械、土木、建築等幾多の分科を有して居りまして、極めて廣汎に亘つて居りますから、恰も吾人の五體の働きのやうに、これ等分科が各々その分に應じて役割を擔當しながら、一方渾然一體となつて綜合力を發揮するにあらざれば、最終の目的を達成することの出來ないことは固よりであります。

各分野の活動には自ら整然たる秩序がある譯であります。例へば工場建築で申しますと、土木技術をその先驅と爲し、建築技術がこれに次ぎ、衛生、電氣等の技術に至り、機械技術、庭園技術等を以て終るといふやうな、順序になるのであります。然らば東亞建設の魁として重要なるものは何でありませうか。實に吾々の擔當分科であるところの電氣通信技術であります。東亞建設の主體たる日本本土と、建設舞臺たる滿支との圓滿なる意思の疏通を圖る上に於きまして、また滿支國內の建設そのものゝ實行計畫に當りまして、先づ第一に必要なものは通信であります。斯るが故に吾々通信技術者は率先して興亞建設に要する綜合技術の一翼を擔當し、この大事業をして有終の美を成さしむべき義務を擔ふ者でありまして、その任務の重且つ大なるを痛感せざるを得ないのであります。

この責任を全うするに必要缺くべからざる要素は、實に我が國に於ける技術及び工業の獨立獨歩であります。由來我が國は科學の輸入と技術の模倣に依存して、今日の技術文化を築き上げたといふことは、屢々世間で申されてゐるところであります。今や我が國の世界的地位の向上と、國際情勢の急轉に依りまして、海外視察の目的を達成することは、殆んど不可能の事態に陥つたのであります。而してまた我が國國際收支の關係から、輸入を極度に制限せざるを得ない實情に立ち至つた一方列強は我が國への輸出を好まざるもの、輸出を欲するも能はざるもの相次いで起りまして、我が國の輸入は高度の制限を餘儀なくされるの窮狀に追ひ込まれたのであります。今や輸入の舊套から蟬脱し、模倣の悪弊を清算して、日本自ら生み成した優秀なる技術と、滿支の豊富なる資源との堅き提携に依つて、奮然東亞自立の臍を固め、歐米依存の傳統を永久に葬り去るの勇氣と覺悟とを持することが、國家百年の計であると信するのであります。

古い例で恐縮であります。私は十數年前に獨乙へ參りまして、ジーマン會社を視察致しましたときに、その技術幹部の人に、お國の技術者は時偶海外視察にお出でになりますかといふ質問を致しましたところ、

吾々は自國內で有ゆることが間に合つてゐるから、海外視察といふやうなことは全然考へたこともないと答へられました。また獨逸製品の型録は歐米のものと同趣を異にして居りまして、洵に丁寧懇切に教科書的に説明してあるが、これは敵を教育するの嫌ひはないかといふやうなことを申しましたところ、お客様が吾々の製品について知らんと欲するところの總てのものを卒直に且つ詳細に記述して、お客様に製品の眞價を味つて戴くといふことが商業の秘訣であると自分等は考へてゐる。然し型録にどんなに詳しい説明をしてみても、それに依つて眞似られるやうな製品は吾々は出さぬ心算であると答へられました。以上ジーマン會社技術首腦部の信條こそ採つて以て吾々の座右の銘にすべきであると思ふのであります。而してこの信念が劣等品、粗悪品の代名詞として用ひられて居りましたところの Made in Germany を、今や優良品の別名と化せしめた原動力ではありますまいか。然しこの非難の意味を賞讃の言葉に變へるまでには、長い間の苦しい努力が拂はれたことは疑ひを容れませぬ。Made in Japan が同様の意味の變化を齎すときの、一日も速かならんことを吾々は切望する次第であります。

先程も申述べましたやうに、我が通信技術の獨立は、數ある技術分科の中で急務中の急務でありますけれども、我が國の科學及び技術が全面的に獨立の機運にあつて、その環境に恵まれなければ、一分科のみその成果を擧げることの望み難いところであることは勿論であります。せめても我が電氣通信技術が、全技術獨立の機運を促進すべき推進力たらんとする意氣込みを持つて事に當ることが極めて肝要であると考へる次第であります。

幸にして我が電氣通信技術界は、既に世界に誇るべき幾多の新技術を産んで居ります。松前博士の無裝荷ケーブルの如き、丹羽博士の寫眞電送の如き、古賀博士の水晶發振機の如き、その他枚擧に遑がないのでありますから、電氣通信技術が日本技術のリーダーシップを執る資格を充分備へてゐると私は考へるのであります。これらの新技術が我が國に於て立派に實を結ぶに至つたのは、考案者自身が卓抜なる學識と技術とを持つて、日夜苦心慘澹せられた結果に外ならないことは申すまでもありませんが、その外に最近斯界の環境が我が國獨得の技術を盛り立て、行かなければならない、さうしなければ日本は立ち行かないのであるといふことを、一般に自覺して來たことも、與かつて力があるのではないかと、竊かに考へる次第であります。

以前は海外崇拜の風潮が國內に滿ち満ちて居りまし

て、日本人の發明考案を日本人自ら、また技術者自ら蔑視する傾向が、洵に顯著でありましたために、考案者自身が如何に熱心であつても、冷淡な環境に抗することが出來ず、刀折れ矢盡きて倒れた例も少くないと考へるのであります。一例を擧げて申しますと、大正七年に故島瀧博士が提案されました高周波式多重電信電話の考案があります。これは現今電氣通信技術界の寵兒として、持て囃されて居りますところの、搬送式電信電話の着想に外ならないのであります。當時は眞空管の黎明期であり、濾波器の搖籃時代でありましたために、研究に對する當事者の苦心は言語に絶するものがあつたにも拘らず、實用的効果を遂に收むるに至らなかつたのであります。若もこの研究が今日の環境に恵まれて居つたならば、必ずや豊富なる研究費を得て、研究が繼續されたであります。さうして我が國が今日の搬送技術に對する最大の榮譽を擔つて居たかも知れぬと、竊かに考へてゐる次第であります。

顧みますのに大正三年に勃發した第一次歐洲大戰に於ては、我が國は英米佛伊の聯合國を味方とし、獨逸を敵として參戰したのであります。戰禍の中心から遠い極東の地域を擔當したに過ぎなかつたのでありますから、比較的その戰爭は呑氣であつたのであります。輸出入貿易も股賑を極め、好景氣で物價は騰貴致しましたが、自由主義經濟組織は何等掣肘を受けなかつたから、物資は豊富でありました。ただ當時獨逸から多く輸入されてゐた染料、醫藥その他の化學製品の輸入が全く杜絶致しまして、我が事業界のみならず、一般國民にも相當の不安を與へたのであります。具眼の士はこの機會に乗じて科學研究の必要を提唱したのであります。乍然環境は甚だしく不利でありました。それにも拘らず化學製品輸入杜絶といふ現實の認識を否定することが出來ずして、運動は相當の成果を齎し、理化學研究所及び學術研究會議の設立はこれが所産であつたらうと思ひます。乍然一般工業界は何等覺醒るところがなく、自由主義組織下にあつて自己の利益に汲々とし、歐米依存の風潮に大なる轉換を齎し得なかつたことは、洵に遺憾に存する次第であります。

今や日支事變を契機と致しまして、統制經濟組織は脚光を浴びて颯爽として當場し、自由主義經濟組織は漸次退陣の已むなきに至りました。而して先程も申しました通り、東亞建設には我が國の優秀なる技術が絶対に必要でありますから、優秀なる技術を産むに適する統制經濟組織は、著々として實現することは疑ひの餘地がありません。その著しい現象を一、二指摘してみますと、先づ研究の全面的勃興であります。以前は

研究資金を獲得することは、各方面の豫算の中、至難のものとして數へられて居つたのでありますが、今日は官民を通じて研究費を得ることは、かなり容易になつた傾向を持つて居ります。次に技術者の擧頭であります。以前は技術者は下積みと相場が決まつて居つたのでありますが、今日はその面目が著しく改善されつゝあるのであります。

然し乍らこれ等の事實を見て、直ちに全國民が技術報國に覺醒めて來たといふことの實證と爲し得るや否や、尙ほ早計に斷じ得ないところであります。統制經濟の運用に迫はれて、體裁の好い利潤の捌け場所として、研究費の増額を招來して來たのではなからうか。また技術者缺乏の結果として、已むを得ずその優遇を招致して來たのではないかといふ點であります。この疑念を裏書するのではないかと思はれる最近の事實があります。即ち本年の官立高等學校及び専門學校入學志願者に於て、理科志望者が前年に比し、著しく減少したといふ事實であります。この現象は時代の趨勢に逆行して居りまして、皮相的現象と裏面的思潮の背反することを物語つてゐるものではないでせうか。然し假りに眞の認識に非ず、外觀的にしろ研究熱の旺盛であつて、技術者の地位向上せる今日、この絶好の機會

に於て吾々技術者は一段の奮勵努力を致しまして、技術の眞價を發揮し、世の認識を益々深くし、又新にし、以て技術立國の基礎を磐石の堅きに置かなければならぬと考へる次第であります。

本學會には官公吏あり、協會員、會社員、軍人、文官、學者あり、實地練達の士あり、研究者あり、製造家あり、苟くも電氣通信技術に關係ある、有ゆる方面の技術者を網羅する、我が國唯一の權威ある團體でありますから、技術立國完遂を目標として相應しい重要な任務があることを、忘れてはならないのであります。本學會は既に教育に、研究に、調査に幾多の輝かしき業績を残して居られますが、變轉極りなき現下の情勢に對應して、新に爲すべき事業も多々生れくることは、豫想に難くないのでありますから、今後も全會員協力、以て國運の進展に寄與しなければならぬと考へる次第であります。この目的遂行のためには、文武官吏はその袴を脱ぎ捨て、會社員は會社の利益一點張りといふ見解を一擲して、各自の得意とする専門技術を以て、本學會の旗標の下に一致團結をして、技術報國に邁進すべきであると存するのであります。

一言以て所感を述べ、就任の御挨拶に代へた次第であります。